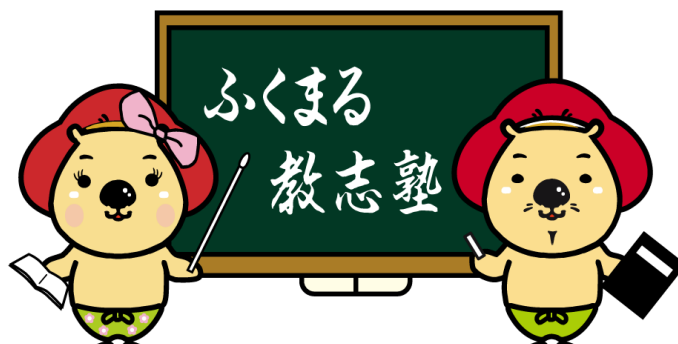


第4回 ふくまる夢たまごセミナー



日 時 8月25日（金）18：00～20：00

場 所 池田市庁舎 7階大会議室

内 容 学校の「安全対策」について
～防犯意識を高めるために～

講師 小林 弘典 氏 （池田市教育委員会 教育部長）



セミナーを始めるにあたって、小林部長は、塾生に問いかけました。「学校の『安全対策』と聞いて、皆さんは何を連想しますか。」

塾生からは、子どもへの安全教育、地震や火事を想定した避難訓練、警備員の配置、通学路に立っている保護者や地域の方の応援、消毒や手洗いなど、多くの考えが出されました。

小林部長からは、～防犯意識を高めるために～という副題に沿って、ご自身の経験もとに、学校教育の根幹に関わる安全安心についてお話を聞かせていただきました。そして、現在の池田市立学校園の安全対策について教えていただきました。



市立学校園における安全対策の一部

- ・危機対応マニュアルの作成、見直し、修正
- ・防犯訓練(不審者対応訓練)の実施
- ・小学1年生に「防犯ブザー」を配付
- ・学校警備員⇒スクールガード・リーダーの配置
- ・モニター付インターフォン、オートロック等の設置
- ・子どもの目線による「地域安全マップ」づくりの推奨
- ・ICタグを活用した「登下校時刻確認システム」の導入
⇒ 防犯カメラの設置



グループワークでは、4 グループに分かれ、今年埼玉県で生起した中学校への不審者侵入事件の概要をもとに、問題点や改善点を協議していきました。校内に不審者を入れないために、玄関を施錠する、警備員を置く、また、教師間の連携体制を整えるなど、塾生から様々な意見が出されました。小林部長からは、不審者対応のために普段からできることが紹介されました

不審者対応等のために普段からできること

- ① 校内では名札の着用を徹底する。
- ② 笛、ペン等を常時携帯する(笛は名札に付ける)。
- ③ 校内で出会う人には、必ず挨拶(会釈)をする。
※ 不審な人物には「何かご用ですか？」等の声をかける。
- ④ 校内では運動靴を着用する(草履やスリッパはダメ)。
- ⑤ 教室は、できる限り閉めきらず開放しておく。
- ⑥ 教室には、不審者撃退用の棒などを置いておく。
- ⑦ 教室等の出入口に背中を向けている時間をできるだけ少なくする。

セミナー最後の、小林部長の言葉です。

「子どもたちが、毎日安心して学校生活を送ることができるように、教師は防犯について高い意識を持ち合わせておく必要があります。『子どもの命を守ること』は、教師として最も大切な仕事(使命)であることを強く心に留めておいてください。」

<塾生の感想から>

○ 学校現場に行くときには、今回話された普段から心掛けておくことと、「まさか」が起きるということを忘れず行動したいし、教師は命を預かっているということを心に持って教師を目指して学んでいきたい。

○ いつどこで子どもたちの命をおびやかす事件が起きるかわからないこと、事件が起きてからでは遅いということ、過去の教訓から学び、日ごろからできることを行うことが大切だということ、教員になってからも、心に留めておきたいです。